

令和6年度国語科「現代の国語」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年A組～E組
教科書	現代の国語（第一学習社）	副教材等	常用漢字の級別学習（啓隆社） 常用国語便覧（浜島書店）

1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4 5	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を中心として、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	読書の意義と効用について理解を深める。文や文体、語句などの表現の仕方を工夫する。	「なぜ本を読むのか」 書き方の基礎 レッスン 中間考査	筆者の考える読書の効用について、自分に照らして考えを深める。 表記、表現の基本ルール、接続表現の種類や用法、比喻などの表現技法を理解する。	小テスト 行動観察 ワークシート ト分析 定期考査
6 7	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 目的や場に応じた言葉遣いを理解する。	「水の東西」 話し方の工夫 待遇表現 期末考査	対比関係を理解し、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 話し言葉と書き言葉の特徴、場面に応じた言葉遣い、敬語表現などを理解する。	小テスト 行動観察 ワークシート ト分析 定期考査
9 10	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を中心として、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 情報の要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。	「イースター島になぜ森がないのか」 論理的な表現 取扱説明書を作成する 中間考査	筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 情報を的確に説明する方法を理解する。	小テスト 行動観察 ワークシート ト分析 定期考査
11 12	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	根拠の示し方や説明の仕方を考える。 文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈して自分の考えを深める。	意見文を書く 「ステレオタイプ」の落とし穴 期末考査	意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。自分の経験の中から意見を導き出せるようにする。 ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。	小テスト 行動観察 ワークシート ト分析 定期考査

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
1	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	相手の反応を予想して構成や展開を工夫する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、表現の仕方を工夫すること。 内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。	ビブリオバトル	自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝える方法を理解し、実践する。	小テスト 行動観察 ワークシート分析 定期考査
2			実用的な手紙の書き方	相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。	
3			「言葉遣いとアイデンティティ」 期末考査	人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深める。	

3 評価の観点

知識・技能	<p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】</p> <p>ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。</p> <p>イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。</p> <p>ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。</p> <p>カ 比喻、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。</p> <p>【話や文章に含まれている情報の扱い方に関する事項】</p> <p>ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。</p> <p>ウ 推論の仕方を理解し使うこと。</p> <p>エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。</p> <p>オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。</p>
思考・判断・表現	<p>【話す・聞く能力】</p> <p>ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。</p> <p>イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。</p> <p>ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。</p> <p>エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。</p>

	<p>オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。</p> <p>【書く能力】</p> <p>ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。</p> <p>ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。</p> <p>エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。</p> <p>【読む能力】</p> <p>ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。</p> <p>イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>

4 評価の方法

提出物の評価（授業で使用したプリントやワークシート・授業ノートなど）と定期考査（年間5回）の成績、漢字テストなどの小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・受け身にならず、自分なりの視点・問題意識を持つよう心がけましょう。
- ・人の意見を聞くとともに、自らも積極的に発言しましょう。
- ・授業の予習・復習を心がけましょう。
- ・辞書を活用し、語彙力を身につけましょう。
- ・授業中感じた疑問点などはそのままにせず、積極的に質問しましょう。
- ・日ごろから自主的に読書に励みましょう。
- ・予定は変更することがあります。担当の指示をよく聞いてください。